

令和3年度

勇足小規模多機能型居宅介護事業所

「ゆうあいの里」

サービス評価（外部評価）

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年1月14日（金） 18:00～21:45

1. 初期支援（はじめのかかわり）

メンバー 佐藤・横田・志戸田・武田・富川・上出
橋本・古川・駒井・田中・古澤

I. 個人チェック項目集計

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	個人 2人	個人 8人 8人 7人	個人 2人 2人 4人	個人 1人 1人 1人	11人
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	個人 2人	個人 10人 10人 9人	個人 1人 1人 1人	個人 1人 1人 1人	11人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	個人 2人 2人 3人	個人 6人 6人 8人	個人 3人 3人 1人	個人 1人 1人 1人	11人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	個人 2人 2人 5人	個人 7人 7人 6人	個人 2人 2人 1人	個人 1人 1人 1人	11人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	個人 2人 2人 2人	個人 3人 3人 7人	個人 6人 6人 2人	個人 1人 1人 1人	11人

II. 前回の改善計画に対する取組み状況

① 前回の改善計画	
	・初期支援時や状況変化のある利用者について、固定的なメンバーではなく、毎回メンバーを入れ替えながら、利用者についての個別の課題分析を全体会議前に行ない、全体会議で検討と合意形成を図り、支援の統一を目指していく。
② 前回の改善計画に対する取組み結果	A:よくできている B:おおむねできている C:まったくできていない B:全体会議前に常勤の職員で毎月メンバーを入れ替えて事前検討し、全体会議で討議することが出来る。しかし、全体会議で合意形成を図ったことが、実際の現場で支援の統一がされていない状態である。また、職員の動態が固定的になりつつあることから、利用者について見えない部分の情報が増え、またそれが職員間で情報共有が図れていないという課題もある。
③ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できている点	・利用開始前に管理者やケアマネが利用者について事前情報を現場の職員に、書面や全体会議等で情報提供することができており、全体会議で利用者について討議し、方向性を示すことが出来る。
④ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できていない点	・全体会議で合意形成を図ったことが、日々の実践に結びついていないことが多くあり、しっかりと情報把握や情報・合意形成に基づいた支援の方向性を職員間で統一出来ていない。

III. 現状の取組みについて

I-①～④、及びその他について改善が必要な点	改善が必要な点と、その理由を記入すること
	・家族と送迎時のみの関わりとなっている現状であり、それぞれが抱える課題や悩み、信頼関係を構築する為の関わりが出来ていない。 ・職員間に情報を読み取る力や理解の仕方等に差があることで、事業所としての支援にバラつきがある。

IV. 次回までの具体的な改善計画 ※II-④、IIIを中心に導き出した結果

・送迎時の短い時間の関わりの中で、家族と信頼関係を築くことを目標に、その家族が何に困りごとを抱えていて、今どのような状態なのか等把握した上で、家族と情報共有・相談を行ない、その思いや考えを受け止めていく。
--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年1月14日（金） 18:00～21:45

2. 「～したい」の実現（自己実現の尊重）

メンバー 佐藤・横田・志戸田・武田・富川・上出
橋本・古川・駒井・田中・古澤

I. 個人チェック項目集計

個人チェック集計欄		よく できている		なんとか できている		あまり できていない		ほとんど できていない		合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	個 事	人 人	個 事	5人 2人	個 事	4人 9人	個 事	2人 人	11人
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	個 事	人 人	個 事	3人 人	個 事	4人 7人	個 事	4人 4人	11人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	個 事	人 人	個 事	2人 人	個 事	5人 6人	個 事	4人 5人	11人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	個 事	人 人	個 事	4人 人	個 事	3人 7人	個 事	4人 4人	11人
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	個 事	人 人	個 事	8人 2人	個 事	2人 7人	個 事	1人 2人	11人

II. 前回の改善計画に対する取組み状況

① 前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 日々の関わりの中での会話等を通して、利用者の願いや想い、強みなどを探り、職員全員に周知が図れるようシートに記載し、その情報の把握が出来るよう職員への意識付けを全体会議等で行なっていく。 コロナ禍の状況に配慮し、利用者の楽しみに繋がる活動を検討、企画を行なっていく。
② 前回の改善計画に対する取組み結果	A:よくできている B:おおむねできている C:まったくできていない C:日々の介護業務（排せつ・入浴・運動等）に追われ、利用者一人ひとりと会話する機会が減りつつある。その中でも職員一人ひとりが意識し、利用者の生活歴等について情報を聞き出し、収集できていることもあるが、その情報を記録や引継ぎ等で、他職員と情報共有を図り、それを全体で共有すること、支援に繋げることは出来ていないという課題がある。
② 前回の改善計画に対する取組み結果について、できている点	<ul style="list-style-type: none"> 職員一人ひとりが利用者の現在の情報だけではなく、これまでの生活歴・生育歴についての情報について意識的に利用者から引き出そうと関わることが出来ていた。 職員が考えたこと、勉強してきたことを取り入れ、利用者の楽しみに繋がるよう新たな実践ができている。
④ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できていない点	<ul style="list-style-type: none"> 現場で知りえた情報をすぐ記載できるよう、シートを業務日報等に入れておいたが、シートに記載される情報は少なく、職員の意識付けが出来ていなかった。

III. 現状の取組みについて

I-①～④、及びその他について改善が必要な点	改善が必要な点と、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> 職員が利用者の意向や目標を把握することが出来ていなく、その為それらに沿った関わりが出来ていない状態である。居宅サービス計画・介護計画書についての情報が現場の職員へしっかりと情報共有が図れていない現状がある。

IV. 次回までの具体的な改善計画 ※II-④、IIIを中心に導き出した結果

<ul style="list-style-type: none"> 利用者毎に担当制（数ヵ月毎に変更）し、毎月のケースカンファレンスで管理者・ケアマネ・看護職員とともに討議することで、利用者に深く関わり、また新たな情報等を知りえる機会が増えていくことで、利用者一人ひとりについての理解を深めていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年1月14日(金) 18:00~21:45

3. 日常生活の支援

メンバー 佐藤・横田・志戸田・武田・富川・上出
橋本・古川・駒井・田中・古澤

I. 個人チェック項目集計

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	個 1人 事 1人	個 1人 事 1人	個 6人 事 9人	個 3人 事 2人	11人
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	個 1人 事 1人	個 1人 事 1人	個 6人 事 10人	個 3人 事 1人	11人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	個 2人 事 1人	個 9人 事 11人	個 1人 事 1人	個 1人 事 1人	11人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	個 2人 事 1人	個 4人 事 1人	個 5人 事 11人	個 1人 事 1人	11人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	個 3人 事 1人	個 8人 事 11人	個 1人 事 1人	個 1人 事 1人	11人
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	個 3人 事 1人	個 6人 事 11人	個 2人 事 1人	個 1人 事 1人	11人

II. 前回の改善計画に対する取組み状況

① 前回の改善計画	
・職員が利用者の生育歴や家族関係など持っている、知りえた情報について、基本情報に追加で記載することを徹底し、職員全体に伝わるようにミーティング等で情報を発信し、職員間の情報共有を図っていく。	
② 前回の改善計画に対する取組み結果	A:よくできている B:おおむねできている C:まったくできていない C:昨年度より、職員が引継ぎ等で報告する機会が多くなってきたと感じているが、その情報等が記録等に記載していない為、休日だった職員は知ることがなく、また必要な時にその情報を引き出すことが出来ずにおり、職員間の情報共有が図れていない。
③ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できている点	・引継ぎや全体会議等で討議する場で、利用者の課題や現在の生活等について情報だけではなく、これまでの生育歴・家族関係等についての発言が多くなっており、職員の意識が変わりつつある。
④ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できていない点	・利用者のフェイスシート等を見る機会が少なく、また新たな知りえた情報等についてシートへの記載が徹底されておらず、職員全体で情報共有が図れていない。

III. 現状の取組みについて

I-①~④、及びその他について改善が必要な点	改善が必要な点と、その理由を記入すること ・事業所として、その利用者の以前の暮らし方(病気や認知症を抱える前)について把握できておらず、またその利用者がどのように、どんな思いを持って生活してきたのかなど、個々に探れておらず、支援に繋がっていない現状である。
------------------------	---

IV. 次回までの具体的な改善計画 ※II-④、IIIを中心に導き出した結果

・フェイスシートを全職員が目を通しやすい場所に置き、個々でしっかりと読み込んでいく。また、新たに知りえた情報がある時には、全職員が都度記載していく様に、事業所として意識付けに取り組んでいく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年1月14日（金） 18:00～21:45

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 佐藤・横田・志戸田・武田・富川・上出
橋本・古川・駒井・田中・古澤

I. 個人チェック項目集計

個人チェック集計欄		よく できている		なんとか できている		あまり できていない		ほとんど できていない		合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	個 事	人 人	個 事	2 1人	個 事	9 10人	個 事	人 人	11人
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	個 事	人 人	個 事	6 人	個 事	4 11人	個 事	1 人	11人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	個 事	人 人	個 事	5 2人	個 事	5 9人	個 事	1 人	11人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	個 事	人 人	個 事	2 2人	個 事	7 6人	個 事	2 3人	11人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	個 事	人 1人	個 事	3 3人	個 事	6 6人	個 事	2 1人	11人

II. 前回の改善計画に対する取組み状況

① 前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・介護職員がケアマネの訪問時に積極的に同行し、利用者の生活状況や家族関係など理解を深めていく。 ・コロナ禍に合わせた地域行事の開催又は事業所と地域との繋がりが途切れることがないように、これまでとは違った方法での交流が図れるよう検討し、事業所の情報を積極的に発信していく。
② 前回の改善計画に対する取組み結果	A:よくできている B:おおむねできている C:まったくできていない B:2人体制で訪問を行ない、適切に現場に情報を提供することが出来ていた。コロナ禍でも地域の保育所から、散歩の時など事業所に寄り顔を見せてくれたり、Zoomを活用して画面越しの交流等が図ることが出来た。
② 前回の改善計画に対する取組み結果について、できている点	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者・ケアマネが中心となって、適切に現場に情報提供することが出来ている。 ・コロナ禍の情勢に合わせた地域との交流の仕方や方法を模索や検討しながらも実施出来ている。
③ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できていない点	<ul style="list-style-type: none"> ・勤務体制、動態面から介護職員の訪問同行があまり出来ていなく、全職員が利用者の自宅状況や家族関係等について、事前の情報提供を確認し、しっかり把握することは出来ていない状態である。

III. 現状の取組みについて

I-①～④、及びその他について改善が必要な点	改善が必要な点と、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> ・その利用者がその地域でどのように生活し、暮らしてきたのか知らないことが多い。また、全職員がその地域で中心となる地域住民（自治会長や民生委員・福祉部等）の方々を把握していない状況がある。

IV. 次回までの具体的な改善計画 ※II-④、IIIを中心に導き出した結果

<ul style="list-style-type: none"> ・本人や家族、地域住民の方々から、本人がどのように地域と繋がり、地域で暮らしてきたのか、聞き取りを行ない、他の職員と情報共有を図る。 ・地域の資源（自治会・民生委員・地域住民等）について、全体会議等で情報共有を図り、全職員がしっかりと把握する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年1月14日（金） 18:00～21:45

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 佐藤・横田・志戸田・武田・富川・上出
橋本・古川・駒井・田中・古澤

I. 個人チェック項目集計

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	個 2人 事 1人	個 6人 事 11人	個 3人 事 1人	個 1人 事 1人	11人
②	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	個 1人 事 1人	個 5人 事 4人	個 6人 事 7人	個 1人 事 1人	11人
③	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	個 3人 事 10人	個 8人 事 1人	個 1人 事 1人	個 1人 事 1人	11人
④	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	個 4人 事 2人	個 7人 事 9人	個 1人 事 1人	個 1人 事 1人	11人
⑤	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	個 4人 事 8人	個 7人 事 3人	個 1人 事 1人	個 1人 事 1人	11人

II. 前回の改善計画に対する取組み状況

① 前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none">・ニーズに応じて、適切なサービス提供を行ない、臨機応変に柔軟な支援をしていく。・地域には、どのような物があり、どのような人がいるのか、など全体会議等で把握し、コロナ禍における地域資源の活用方法に全体会議等で検討していく。
② 前回の改善計画に対する取組み結果	A:よくできている B:おおむねできている C:まったくできていない A:急な状況においても、臨機応変で柔軟なサービスは、即時的に実施できている。事業所が地域に認知され、何かあった時には地域の方が快く協力的であるが、事業所として地域の社会資源について、しっかりと把握できていなく、上手く活用することが出来ていないという課題がある。
③ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できている点	<ul style="list-style-type: none">・利用者や家族の急な状況（状況変化や用事等）での対応でも受け入れることが出来ており、24時間365日当事業所のみ利用者だけではなく、新規の相談・対応も行なってきた。・運営推進会議を活用した地域との関わりを持つことができており、相談・連携体制が整っている。
④ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できていない点	<ul style="list-style-type: none">・地域の自治会、福祉部や在宅福祉ネットワークとの密着的な繋がりを持つことが出来ていない状態であり、協同・情報共有という体制までは至っていない。

III. 現状の取組みについて

I-①～④、及びその他について改善が必要な点	改善が必要な点と、その理由を記入すること <ul style="list-style-type: none">・地域の資源についての理解が足りず、また適切に情報共有が図れていないことで、地域の資源を頼らずに事業所のみで行動していることが多い傾向がある。
------------------------	---

IV. 次回までの具体的な改善計画 ※II-④、IIIを中心に導き出した結果

<ul style="list-style-type: none">・地域の資源（自治会福祉部や在宅福祉ネットワーク等）と協同した体制を整えていく為に、必要な情報提供と情報共有に努めていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年1月14日（金） 18:00～21:45

6. 連携・協働

メンバー 佐藤・横田・志戸田・武田・富川・上出
橋本・古川・駒井・田中・古澤

I. 個人チェック項目集計

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組めましたか？	個 1人 事 1人	個 3人 事 11人	個 5人 事 5人	個 2人 事 2人	11人
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	個 1人 事 1人	個 3人 事 1人	個 1人 事 6人	個 7人 事 4人	11人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	個 1人 事 1人	個 4人 事 11人	個 1人 事 1人	個 6人 事 6人	11人
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	個 1人 事 11人	個 2人 事 1人	個 2人 事 2人	個 6人 事 6人	11人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	個 1人 事 7人	個 5人 事 4人	個 4人 事 4人	個 2人 事 2人	11人

II. 前回の改善計画に対する取組み状況

① 前回の改善計画	
・会議の目的や内容に応じて、管理者やケアマネ以外にも適切な職員が参加できる場合は、積極的に外部への会議に参加できる体制を整えていく。また、会議の内容に応じて、適切に情報管理を行ないながら、全体会議等で、他の職員にそれぞれの会議の周知と理解を図っていく。	
② 前回の改善計画に対する取組み結果	A:よくできている B:おおむねできている C:まったくできていない
B:コロナ禍の為、Zoomを利用した会議等に職員が参加しやすいよう、また固定的な職員が参加できないなど勤務体制を整えながら実施出来ている。また会議の内容等は、全体会議で報告の機会を持ち、全職員へ情報共有を図っているが、資料等は閲覧出来ていない状態である。	
③ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できている点	
・全体会議等を利用して、会議の内容等について、適切な情報管理に基づきながら、全職員へ情報共有を図ることが出来ており、必要に応じて討議が行われている。	
④ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できていない点	
・全職員が会議の理解を把握することが出来ておらず、資料等も閲覧する機会が確保出来ていなかった。	

III. 現状の取組みについて

I-①～④、及びその他について改善が必要な点	改善が必要な点と、その理由を記入すること
・全体会議等で周知、情報提供を口頭で行なっていたが、その情報について不足していることも多く、職員の理解に繋がっているとは言えない状態である。	

IV. 次回までの具体的な改善計画 ※II-④、IIIを中心に導き出した結果

・会議の資料について、必ず全職員が閲覧することを徹底し、内容の必要性に応じて全体会議等の議題として、情報共有・討議の機会を持つていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年1月14日（金） 18:00～21:45

7. 運営

メンバー 佐藤・横田・志戸田・武田・富川・上出
橋本・古川・駒井・田中・古澤

I. 個人チェック項目集計

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	個 1人 事 0人	個 4人 事 10人	個 4人 事 1人	個 3人 事 0人	11人
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか？	個 2人 事 0人	個 2人 事 0人	個 4人 事 11人	個 3人 事 0人	11人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	個 2人 事 0人	個 5人 事 11人	個 3人 事 0人	個 1人 事 0人	11人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	個 1人 事 0人	個 6人 事 11人	個 2人 事 0人	個 3人 事 0人	11人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか？	個 1人 事 0人	個 6人 事 6人	個 2人 事 5人	個 3人 事 0人	11人

II. 前回の改善計画に対する取組み状況

① 前回の改善計画	
	・地域の相談拠点の一つとして、普段から地域の方が何を求めているのか、地域に何が必要なのか等、意識するよう心がけ、全体会議等で検討していく。また、地域に事業所への理解や認知症等の知識普及を目標とした活動、事業所便りを発行していく。
② 前回の改善計画に対する取組み結果	A:よくできている B:おおむねできている C:まったくできていない
	A:地域の相談拠点としてその都度、相談対応することが出来ている。地域から心配なケース等の情報は、適宜情報共有を図りながら、事業所として訪問等を行ない、早期発見・早期対応の体制が出来ている。情報発信や知識普及活動といった事業所便り・オレンジカフェの開催が計画通りに実施出来た。
③ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できている点	
	・計画通りに事業所便りを発行したが、事業所職員の紹介は地域からの反応も大きく、興味を持っていただく機会となった。オレンジカフェでは、予想より多くの地域住民の方々に参加していただき、健康や認知症についての知識普及活動に対して、地域からの関心があることを再確認することが出来た。
④ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できていない点	
	・全職員で、全体会議等で地域の特性や資源等について情報共有する機会がなく、一部のみの職員が知っている現状である。

III. 現状の取組みについて

I-①～④、及びその他について改善が必要な点	改善が必要な点と、その理由を記入すること
	・事業所の在り方について、少しずつ意見を発言する職員が多くなってきている傾向があるが、また全員が発言出来るという所まで至っていない。

IV. 次回までの具体的な改善計画 ※II-④、IIIを中心に導き出した結果

	・全職員が自身の事業所について意見や思い等が自由に発言できるよう、全体会議の在り方、その前に行われるリーダー会議の在り方について協議し、事務所職員に介入していただきながら、一人ひとりが自由に発言できる体制、進行方法等を見直していく。
--	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年1月14日（金） 18:00～21:45

8. 質を向上するための取組み

メンバー 佐藤・横田・志戸田・武田・富川・上出
橋本・古川・駒井・田中・古澤

I. 個人チェック項目集計

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組めましたか？	個人 1人	個人 3人	個人 7人 11人	個人 1人	11人
②	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	個人 1人	個人 7人 10人	個人 2人 1人	個人 1人	11人
③	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	個人 1人	個人 8人 10人	個人 3人 1人	個人 1人	11人
④	地域連絡会に参加していますか	個人 9人	個人 3人 2人	個人 2人	個人 6人	11人
⑤	リスクマネジメントに取り組んでいますか	個人 1人	個人 6人 11人	個人 4人	個人 1人	11人

II. 前回の改善計画に対する取組み状況

① 前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none">・ 職員のスキルアップのために、何が事業所として足りないのか全体会議等で洗い出し、それに基づいた内部研修を行なう。・ 積極的に外部への情報発信、情報共有に努め、他事業所の状況や実践ケースなど、全体会議等で、全職員へ周知し、それを取り入れていくこと出来るのか検討の機会を持つ。
② 前回の改善計画に対する取組み結果	A:よくできている B:おおむねできている C:まったくできていない C:適宜、必要な場面で全体会議等を活用して内部研修を実施しているが、情報の提供となっており、知識や技術獲得となる内容とはなっていない。また、法人内部のその他の事業所については、管理者会議やiPadの写真で様子や取組みについて、共有することが出来ているが、それらを上手く活用出来ない現状である。
③ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できている点	<ul style="list-style-type: none">・ 全体会議等で、短期時間だが、必要性が高いことについては内部研修が実施出来ている。・ 他の事業所の状況について、全体会議で情報共有を図ることが出来ている。
④ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できていない点	<ul style="list-style-type: none">・ 事業所として、何が足りないのか、全体で検討する機会を持つことが出来ていない。・ 職員のスキルアップ、手技獲得に繋がる研修を企画出来ていない。

III. 現状の取組みについて

I-①～④、及びその他について改善が必要な点	改善が必要な点と、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・ 事業所の体制や運営に基づいた資格取得や研修会参加により、事業所として更なる介護の質の底上げを行なう。	

IV. 次回までの具体的な改善計画 ※II-④、IIIを中心に導き出した結果

<ul style="list-style-type: none">・ 事業所運営に欠かせない必要な資格（介護福祉士・介護支援専門員等）や研修会（認知症実践者研修等）に積極的に参加、取り組める様、事業所として職員をバックアップした体制（他職員への周知や勤務体制等）を整えていく。・ 職員のスキルアップ、手技獲得に繋がる内部研修を整えていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年1月14日（金） 18:00～21:45

9. 人権・プライバシー

メンバー 佐藤・横田・志戸田・武田・富川・上出
橋本・古川・駒井・田中・古澤

I. 個人チェック項目集計

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	個 3人 事 1人	個 7人 事 11人	個 1人 事 1人	個 1人 事 1人	11人
①	身体拘束をしていない	個 6人 事 11人	個 4人 事 1人	個 1人 事 1人	個 1人 事 1人	11人
②	虐待は行われていない	個 7人 事 10人	個 4人 事 1人	個 1人 事 1人	個 1人 事 1人	11人
③	プライバシーが守られている	個 2人 事 2人	個 8人 事 9人	個 1人 事 1人	個 1人 事 1人	11人
④	必要な方に成年後見制度を活用している	個 4人 事 10人	個 3人 事 1人	個 1人 事 1人	個 3人 事 1人	11人
⑤	適正な個人情報の管理ができています	個 3人 事 1人	個 8人 事 11人	個 1人 事 1人	個 1人 事 1人	11人

II. 前回の改善計画に対する取り組み状況

① 前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 職員同士で提供するサービスや支援の在り方に対して、自由に意見や検討できる場を全体会議で持ち、利用者の支援について考えていく。 職員個々が自分自身と向き合い、自己覚知を深めることで、気持ちをコントロールし、モラルの低下や虐待に繋がらないように予防していく。
② 前回の改善計画に対する取り組み結果	<p>A:よくできている B:おおむねできている C:まったくできていない</p> <p>B:全体会議でサービス状況や利用者への支援について討議出来ているが、職員体制等から一人ひとりの全員への負担は少しずつ大きくなりつつある。身体拘束や虐待は行われていないが、勤務体制や利用者の状況等に応じては、職員に過度にストレスや負担を抱えていた時もある。</p>
③ 前回の改善計画に対する取り組み結果について、できている点	<ul style="list-style-type: none"> サービス状況について、毎月全体会議の議題に挙げ、検討することが出来ている。 虐待に繋がらないように事業所体制を整備出来てきている。
④ 前回の改善計画に対する取り組み結果について、できていない点	<ul style="list-style-type: none"> 職員個々に対して、自己覚知を深めることや学びの機会の確保が事業所として整っていない。

III. 現状の取り組みについて

I-①～④、及びその他について改善が必要な点	改善が必要な点と、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 成年後見制度利用について、把握出来ていないことある。 スピーチロック（言葉での抑制）、ドラッグロック（薬での抑制）など、現場の中では必要なグレーゾーンがある。 	

IV. 次回までの具体的な改善計画 ※II-④、IIIを中心に導き出した結果

<ul style="list-style-type: none"> 日々の業務の中で、スピーチロック（言葉での抑制）、ドラッグロック（薬での抑制）について、利用者の人権を守る立場の専門職であることを常日頃から心がけ、それを侵略することが無いよう全体会議等で検討していく。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 本別町社会福祉協議会	代表者	会長 砂原 勝	法人・ 事業所 の特徴	本別町社会福祉協議会が運営する事業所。 本別町市街地からは離れた所に立地している。 地域住民の方々の理解と協力を得ながら運営しており、利用者の方々の住み慣れた地域 で生活していただくという考えのもと、地域密着型の介護保険事業所としてその機能を 担っている。
事業所名	勇足小規模多機能型 居宅介護事業所 「ゆうあいの里」	管理者	管理者 佐藤 貴浩		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の 確認	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍の影響により、運営推進委員が事業所に訪れる機会が減少し、事業所の状況が分からないこと、目に見えない所が多くなってきている。各項目の内容について、誰が見ても分かりやすく、評価しやすいように設定していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所の課題について、改善されつつあるが、全職員が事業所の改善計画を目にする機会が少なく、意識的に、また具体的に取り組むことは出来ていなかった。 		<ul style="list-style-type: none"> 事業所の改善計画を具体的に誰が見てもわかりやすい内容にする。全体会議で職員間で共有し、1カ月毎に一つ改善計画を取り上げ、計画的に達成又は評価できるように取り組んでいく。
B. 事業所の しつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 事業所の外観と内観、花壇や野菜畑など含め、利用者や地域から気持ち良い事業所として思ってもらえるよう日々の事業所内外の環境を整えていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所周辺の草刈り、除草剤を使用し、昨年以上に環境整備を行なうことが出来た。 利用者と一緒に畑づくりや花壇づくりを行ない、ゆうあいの里の正面玄関、ウッドデッキ、ふれあいのいえに色鮮やかな花が咲き、それを見る為に利用者も外に出る機会も多くあった。 		<ul style="list-style-type: none"> 整理整頓、美化、衛生面を常に心がけ、快適な居場所と居心地の良い事業所作りを意識する。 地域の皆様に事業所に立ち寄っていただける、興味を持っていただける季節に合わせた工夫（花畑やアイスキャンドル）を行なう。
C. 事業所と地域の かかわり	<ul style="list-style-type: none"> 事業所の活動や普段の様子、地域の相談窓口としての機能をゆうあい便りなどの広報活動を通じ積極的にPRし、コロナ禍においても地域と繋がりが途切れることがないように、事業所の認知度向上と相談しやすい環境を整えていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ゆうあい便りを計画通りに発行することができており、第1号では事業所職員の紹介を写真とともに記事にし、地域に向けてPRすることが出来たが、地域に職員の名前を憶えていただくこと、ゆうあい便りが周知出来ているとは、至っていない状況である。 ゆうあい便りの内容としては、事業所の活動や普段の様子だけではなく、このコロナ禍における取り組みや介護予防への啓発活動、相談窓口であることも内容に盛り込む様に心掛けている。 運営推進会議では、地域で気になる方や利用者についての情報共有が図れるようになってきている。 		<ul style="list-style-type: none"> 事業所の広報誌及びパンフレットの内容の見直しを図り、回覧板の活用やコロナ禍の時代に合わせたPR方法で、事業に関して地域の理解を求めていく。

<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍において、地域に出向くということが難しい状況だが、適切にリスク管理を行ない、利用者が事業所内だけで過ごすのではなく、地域と関わりを持てるように取り組んでいく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の影響により、これまでの地域との交流行事を開催出来ていないが、感染症の流行状況等をみながら、少しずつ地域との関わりを持つことが出来る様になってきている。 ・勇足保育所と Zoom を利用してだが、お互いに顔を見せ合い、交流を図ることができ、利用者の楽しそうに参加されている姿をみる事が出来た。お互い散歩の時、窓越にあいさつし、手を振る交流の機会が増えている。季節毎には散歩やドライブなど、事業所から出かける機会を沢山持ち、コロナ禍で外出の機会が減っている利用者にとって、大きな楽しみに繋がることになった。 ・コロナ禍では、積極的に地域に出向き、介入していくということは難しい状況だが、地域や各関係機関との情報共有を密に、適切に訪問等実施し、関わる事が出来ている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍や高齢化、世代交代などの理由により、これまで地域で行なわれてきた行事や活動が少なくなり、地域の集まり場が無くなりつつある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ情勢の動向をみながら、地域で暮らす方々の楽しみとなる集まり場や健康的に暮らす為の啓発活動などを企画し、地域に事業所が根付き、途切れることなく繋がりを持ち続けられるように取り組んでいく。
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍において、運営推進会議が書面開催となることで、事業所の様子が分からないことが多くなる為、運営推進会議での情報発信や共有、協議の在り方について見直し、委員の方々に日々の事業所の様子が分かるように取り組んでいく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議では、ゆうあい便りや取り組みの状況を具体的に説明することを心掛けており、また会議で出た意見や困りごとを吸い上げ、事業所運営に繋げることが出来ている。 ・利用者の状態や情報などについても、個人情報に配慮した上で、必要な情報を共有することができており、会議に協議の場が根付いていると感じている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の影響により、書面開催が継続している中でも、円滑な情報共有や意見交換ができ、有効的な運営推進会議となるよう、書面の内容、協議の在り方について、継続的に見直し、検討していくことで、委員の皆様に事業所の状況や理解が深まるよう取り組んでいく。
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍でも、適切なリスクマネジメントを行ない、地域と協働した避難訓練を行えるように取り組んでいく。 ・最新の情報に基づいた非常災害対策計画の作り直しを行なっていく。また、風水害時を想定した車両での避難誘導も検討していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度も、運営推進会議で避難訓練について、事前に訓練内容や日程について周知し、運営推進委員に参加していただくことが出来た。 ・最新の情報に基づき、法人全体で自然災害時と感染症発生時における業務継続計画（BCP）の策定に努めており、事業所内でもリーダークラスの職員が中心となって、事業所全体に下し、検討しながら策定に努めている。 ・火災時の避難訓練は実施できているが、水害時の避難訓練はまだ未実施の為、業務継続計画（BCP）の策定後に、運営推進委員の皆様へ意見等いただき、それに基づき水害時を想定した地域協働の避難訓練を実施していきたい。 		<ul style="list-style-type: none"> ・非常災害対策計画、業務継続計画（BCP）を運営推進会議委員の皆様へ周知、そしてともに協議していくことで、実践的な計画にしていく。また、その計画に基づき、まだ未実施である水害を想定した地域協働の避難訓練を計画する。 ・水害等の緊急時には、旧養護老人ホーム等の活用も視野に町と協議を進めていく。

